

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	海外組積造耐震化小委員会	主 査 名：花里利一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>国内外の研究機関、国際機関等による活動とその成果に関する情報と知見の共有化を図りつつ、以下の目的で活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途上国組積造住宅の地震災害軽減化を目的とした英文技術資料の出版。 ・ 海外の既存組積造を対象として途上国住宅建築、歴史的建造物、組積造帳壁を対象とし、地震国における組積造構造の耐震安全性を確保するための補強技術に関する実用的な英文技術ガイドの作成。 ・ 災害委員会と連携した、組積造建物を主とする海外巨大地震災害調査。途上国住宅に関する技術資料や既存組積造の補強に関する技術ガイドの活用。 <p>初年度：途上国組積造住宅の地震災害軽減化を目的とした英文技術資料の出版に向けた編集。 2 年度：初年度に編集した英文技術資料の出版。既存建物の耐震補強技術の国内外実例 DB の作成。補強効果に関する評価指標の提示と資料収集。 3 年度：既存組積造建造物の耐震補強法に関する英文技術ガイドの作成方針決定と原稿の執筆作業。 4 年度：既存組積造建造物の耐震補強法に関する英文技術ガイドの編集。大会等 PD の開催による成果の公表、出版に向けた作業の開始。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：花里利一 (三重大学) 幹事：黒木正幸 (大分大学)、前島彩子 (明海大学)、山口謙太郎 (九州大学) 委員：今井弘 (毛利建築設計事務所)、遠藤洋平 (信州大学)、北茂紀 (北茂紀建築構造事務所)、真田靖士 (大阪大学)、谷昌典 (京都大学)、崔 琬 (静岡理工科大学)、中川貴文 (国土技術政策総合研究所)、中村友紀子 (千葉大学)、檜府龍雄 (国際協力機構)、松崎志津子 (千葉大学)、箕輪親宏	
設置 WG		
2017 年度 予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「2015 年ネパール地震による被災組積造建造物の被害と復旧・復興計画—ノンエンジアド住宅から歴史的建造物まで—」 『同名資料』 参加者数 37 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. シンポジウム (10 月 28 日) を開催し、委員会活動の成果である英文技術資料を紹介するとともに、ネパール地震災害の復興計画に関する有意義な議論ができた。 2. 英文技術ガイドの編集に向けて、今後執筆活動を進める。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会出席率を高める工夫をしたいが、旅費の問題もあり、開催日時に制限を受ける。メール審議の活用も検討する。